

平成28年度 12会計の決算認定

決算審査特別委員会 審査結果

平成28年度一般会計をはじめとする12会計の決算認定議案は、初日の8月30日決算審査特別委員会に付託されました。

同委員会では、総務・文教厚生・産業建設の3分科会に分かれて9月1日から8日まで慎重に審査した結果を2日目の12日に林久光決算審査特別委員長が報告し、個別意見(要望事項)を付して決算を認定しました。



▲決算審査の様子

付帯意見

次の点については、今後さらに検討を加え、是正すべきであると考え個別意見(要望事項)とする。

総務分科会

●定員管理について、「第2次定員適正化計画」に基づき、計画的に職員を採用するとあるが、人口が減少する中、職員を増員する計画は早急に見直すべきである。

また、経常収支比率が上昇し財政の硬直化が進む中、人件費の増は厳に慎むべきである。行財政改革を第一義に、組織・機構及び事務事業を見直し、効率的かつ効果的な行政運営に努められたい。

●主な財政指標の一つである経常収支比率は、平成25年度から80%台後半を推移していたが、平成28年度決算では92・6%に上昇し、今後、公債費を中心とした義務的経費

が増加し、財政の硬直化がますます進むことが予想される。標準財政規模を勘案し、一般財源の縮小を前提として健全な財政運営に向けた取り組みの強化は、喫緊の課題であると認識されたい。

●ふるさと寄附金制度について、寄附件数および寄附額の増加とともに、その返礼品においては、地場産業や第1次産業の需要を生み、地域の特徴を生かした6次産業化も期待されることから、今後とも寄附金増加に向け努力をされたい。

●平成24年度から始まり5年が経過した体験型修学旅行受入事業について、年々受け入れが増加し、平成29年度は31校約4000人の受け入れが計画されている。民泊受入家庭の高齢化が進み、受入家庭数が横ばい状態の中で、無理のない計画とするともに、運営面においても市主導型から観光協会等への移行を早期に検討されたい。

●「江田島市公金管理及び運用基準」並びに「江田島市債券運用指針」に基づき、適正・有用な基金運用に努めるとともに、基金運用に必要な専門知識を有する人材育成に引き続き務められたい。

●消防庁舎建設に当たっては、市の将来を考慮した施設規模とし、過度な投資とならないよう事業費の圧縮に努められたい。

文教厚生分科会

●市民サービスセンターは、本来の業務である戸籍・住民票等の証明事務に加え、観光で本市を訪れた来島者からの問い合わせも多数あり、業務が多様化している。

市役所閉庁時や買い物に出かけた際に用件を済ませたい市民が気軽に利用できる施設であり、また利便性が高いため、職員研修や人材育成によりさらなる市民サービスの向上に努められたい。

●少子高齢化が進む本市において、高齢者や障害者、子育て世代など、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らすためには、見守りなどの支援を行う地域連携体制の構築が必要である。

地域共生社会の実現のため、市社会福祉協議会や自治会等関係機関と連携し、見守り支援活動の拡充や地域ボランティアの育成をはかるとともに、今後も一段と重要性が高まり、ニーズが多様化する買い物支援事業の拡充に努められたい。

●大柿自然環境体験学習交流館(さとうみ科学館)について、廃校舎を利用し、ふるさとの身近な自然を教育資源とした里海学習など、特色ある教育を実施しており、他市から視察研修に訪れるなどの実績もあり、先進的な取り組みは評価できるとして事業の拡充に努められたい。

なお、施設が老朽化しているため、改修などの対策を早期に検討されたい。

産業建設分科会

●農林水産業は本市の基幹産業であるが、厳しい状況にある。その中で、「農業振興ビジョン」および「オリブ振興計画」が策定されたことは評価できるが、早急に実施計画を立て、対応することが必要である。特に、耕作放棄地の増加は深刻な問題であり、これを解消し、農業の活性化をはかるため、生産基盤の整備および新規就農者や担い手の育成に努めるとともに耕作の阻害要因であるイノシシやカラス等の鳥獣被害に対し、積極的な対策を講じられたい。

●「かせげる水産業」を目指すためには、つくり育てる漁業の強化が必要であり、関係漁業機関と連携し情報収集に努め、安定的な漁獲量の確保をはかられたい。また、さらなる漁獲量の維持・確保には、漁場整備による水産動物の育つ環境づくりも必要である。

そのため、海底ごみの回収促進や底質改善・漁場造成の計画的な実施により良好な漁場環境を維持し、漁業経営の安定化に努められたい。

●近年、限られた地域に短時間で多量の雨が降る集中豪雨が発生しており、災害や事故等を未然に防ぐため、今回実施したポンプ場沈砂地しゅんせつ工事や河川の堆積土撤去は大変有効である。市民の安心・安全確保や良好な景観の保全のため、今後も引き続き計画的に実施されたい。

●老朽化が進む市営住宅は、今後耐震化やバリアフリー化等への大規模改修が必要となるため、「市営住宅長寿寿命化計画」に基づき適正な維持管理に努められたい。

また、入居可能な住宅については入居率の向上をはかられたい。

●水道・下水道使用料の徴収率は、近年高水準で推移しており、成果が表れているため、今後も引き続き努力されたい。また、下水道処理区域内の下水道未接続者に対し、趣旨を十分説明し、接続率の向上に努めるとともに、未整備地区は、住民アンケート等により意向を把握し、経済性・効率性などを勘案した整備を検討したうえで、合併浄化槽区域への見直し等、思い切った転換を検討されたい。

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

第4回(9月)定例会		賛否表																
議員名	議案	番号	表決数															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16	
			平川博之	酒永光志	上本一男	中下修司	花野伸二	浜先秀二	上松英邦	吉野伸康	山本秀男	野崎剛睦	片平司	浜西金満	山本一也	新家勇二	林久光	
	江田島市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案について	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	江田島市太陽光発電設備設置促進のための固定資産税の特例措置に関する条例を廃止する条例案について	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	呉市と江田島市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成28年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定について	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※番号11番、18番は欠席

件名	議決結果
江田島市教職員住宅設置及び管理条例を廃止する条例案について	可決
江田島市太陽光発電設備設置促進のための固定資産税の特例措置に関する条例を廃止する条例案について	可決
市有財産の無償譲渡について(議案第45~49号)	可決
市有財産の無償貸付けについて	可決
呉市と江田島市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	可決
平成29年度江田島市一般会計補正予算(第3号)	可決
平成29年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
平成29年度江田島市介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第1号)	可決
平成29年度江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決
平成29年度江田島市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
財産の取得について	可決
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書(案)の提出について	可決

件名	議決結果
平成28年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市介護保険(保険事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市港湾管理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市地域開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市宿泊施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市交通船事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
平成28年度江田島市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決及び認定
平成28年度江田島市下水道事業会計決算の認定について	認定